

基老連ニュース

オ24号

《団基部特輯》

基老連の目的

ボケ防止のために、老人団基部好者の誰もが
「基を樂じむ」ことが出来ぬよう、機會と場
所を確保するために相談なし、団基を造設し
親睦を図り、更には、より良き福祉社会の達
成に貢献することを懸念とする。

発行日 平成4年1月11日
発行所 入江子の基を樂じむ老人連合
行193 入江子町初沢町1434-46
TEL (0926) 66-3754
発行人 熊崎正一

新年おめでとうございます

旧年中はいろいろと御迷惑によりありがとうございました。
本年は、オ2回ボケ防止のための啓発団基大会を始め、基老連研修会、NTT
敬老開基大会の協賛等のボランティア活動を積極的に推進することに努めております。
更に今年を八王子市に沿ひる老人団基人口の実態調査の年と定め、老人会や町内
団地等の団基部の状況を調査し、これらの機関の御権力を得た上で、現状においては、基が打ちたくとも打つことが出来ない低い級位の方々の御意向や御希望の
把握に努め、御期待に添うことが出来かどく具体策を樹立し、実施に努めたための
体制作りを目標と定めて努力する心算でおりまげので、尚一層の御権力と御指導を賜
ります。御頼み申しあげます。

平成4年元旦

入江子の基を樂じむ老人連合	会長	熊保	崎野	正一
浅川寿團基部好会	〃	高橋	橋本	清吉
元八王子	〃	木	木	光人
子安	〃	木	木	友信
大和田	〃	藤木	藤木	貞正
由木	〃	田嶋	田嶋	博正
中野	〃	正	正	一
由井	〃	横	横	
北野	〃	熊	崎	
長寿地区的寿團基部好会の再開準備委員長				

—————< ◇ >—————

御挨拶

深山の方々より賀状を頂戴し、誠に有難い次第と感謝しております。
早速礼状を出すべきではございませんが、昨年新年号にて御願い申し上げましたように、暮
連の業務に専念させて頂き、賀状を始め、履石關係や、病氣見舞等日常の御付合い
が互いに見合わせることになつておりますので、失礼ながら本紙上を借りて御挨拶をさせて頂
ます。悪しからず御了承下さい。

平成4年元旦 熊崎正一様

(1)

八王子の基盤を築いた老人連合(基老連)組織概要

(平成元年11月12日設立)

平成4年1月現在

1. 役員

役職名	担当業務	氏名	所属	業務運営指導委員会
相談役		三浦 浩	基老連	
会長	会報相当(代行)	熊崎正一	"	業務運営委員会
副会長	技術顧問会	徳永終七郎	"	
"	事務局長	保屋野正清	城川	業務運営委員会
"	研修会会長	横田博信	北野	"
"	競技大会	高橋 実	元八王子	"
"	教習園係	鍛木民平	由木	"
"	総合企画	佐藤真人	中野	"
"	"	八木義光	大和田	"
"	"	正木正友	由井	"
"	"	櫻本繁志	安	"
常任理事		石井勇二	平	各員
"		高橋隼二	元八王子	"
"		高峰昭申	木	"
"		牧嘉賀	中野	"
"		大河原静	城川	"
"		豊田弘治	大和田	"
"		赤池礼	由井	"
"		高橋正敏	北野	"
"		小川 順	(旧)辰房	
監事		安藤久雄	大和田	
"		高橋京一	城川	
		計 22名		

2. 業務相当

研修会關係

役職名	氏名	所属
研修部長	横田博信	北野
" 部員	坪瀬久雄	大和田
" "	松井 聰	(旧)辰房
" "	高橋京一	城川
" "	中島泰彦	城川
研修部員	鍛木嘉賀	中野
"	奥村 韶	城川
"	金田政治	平
"	佐久木俊郎	由木
"	遠藤成章	大和田
"	堀山和英	由井
"	城道武	北野
"	平山健文	(旧)辰房
	計 13名	

技術顧問会關係

役職名	氏名	所属
会長	徳永終七郎	平
幹事	荒井健夫	由井
会員	横田博信	北野
"	東義代美	中野
"	永安浩二	城川
"	山岸永知	大和田
"	名取豊彦	城川
"	取崎洋三	基老連
"	川中翠	由木
"	西田宣規	由木
"	木田正尚	元八王子
	計 11名	

競技大会關係

競技委員長	高橋 寧	元八王子
	競技委員会、各委員長より組合員の競技相当副会長	

(2)

年頭の所感

基老連会長 熊崎正一

昨年は、基老連の事業計画を推進するための運営資金について、補助金を念に市に打診して参りましたが、新規担当者あり、老人団体として申請すれば補助金を出して良いとの御意向を取つておりました。

然しながら、基老連としては設立の趣旨や事業目的からして、社会福祉団体として公認して頂きたいと懇願しております関係上、見送らせて頂く事となり、自立精神を図るために、昨年11月23日に臨時総会を開催して先の経緯を説明し、平成4年度の基老連に対する上納金(貢糧金)に因り、会員の食費100円を200円に値上げし、100円分を基老連の事業協力のための貢糧金として提供して頂く事になりました。これに伴い、創立以来平成3年度までの布字は、一応棚上げとして措置する。

いよいよ、平成4年を基老連のボランティア活動の初年度と定位を一新し、本格的な事業活動を推進する覚悟で務め所存ですから、なお一層の御指導と御支援賜りまわり御願い申し上げます。

以上

会員名簿の発行

平成4年1月現在にて会員名簿を発行します。

団体名	会員名	性別	面積	会員数
川島町農園協会	保原正吉 元八王子町3-2581	64	0.906	46名
元八王子 "	西橋 實 千鬼子町1168	51	0.753	30 "
平井 "	榎本繁吉 幸安町3-14-9	22	0.587	23 "
大和田 "	八木義光 大和田町5-34-3-301	42	3.093	32 "
由木 "	鈴木民平 鶴鳴945-16	76	0.394	33 "
中野 "	佐藤寅人 加佐町2-144-23	91	0.165	21 "
田井 "	正木正友 片倉町561-37	44	0.807	20 "
北野 "	種田博信 鶴ヶ丘1-57-5	36	0.122	25 "
長野地区 "	(平成3年11月23日に解散し現在西用津端中)			21 "
合計				251名

基老連ニュース発行に関する協力者募集

基老連ニュースは、この新年号で"ガ24号"となりました。

当初は、200部を印刷しておりましたが、現在は400部印刷しており、今後日々増加していくものと思われるので、到底手で一人で一年に夏冬秋刈り込むべく、この際、次のよう分業制で御協力頂けないものかと存じてありますか。如何なものでしょうか。

記

ニュースの発行日は毎月11日と定めておりましたが、ガ22号日に配布せねばならぬので、先に記して作成せねばなりません。

1. 原稿の作成(午前2, ワーク)

2. 印刷と販売

3. 配布(午後と郵送)

以上通りですが、よろしく御察い下さい。

(熊崎正一)

(3)

第2回ボケ防止のための被教団基木会の開催について

本年も、昨年に引き継いで下記により大会を開催することに依つて行う所すので、以下御願い申しあげます。

説

1. 開催日 別掲、大会の運営についての項参照。
2. 場所 各市民センター
3. 主催者 各教団基木会
4. 共催者 基光連
5. 後援者 八王子市、八王子市教育委員会、財団法人日本棋院
6. 参加費 100円
7. 料理(手約) 300円位(イシとパック茶)
8. 競技規定 (1). 日本棋院の規定を準用する。
 (2). 時間について。
 1. 1局1時間とする。
 2. 時間に勝敗が決しない場合は、審判の判定を求める。
 又は、10分間延長を求めることが出来る。
 3. 延長後も勝敗が決しない場合は折切りとし、由若共負とする。
- (3). 競技の進行は、次のようす時間割(予定)による。

1回戦	開始	10時00分	～	11時10分	折切り
2	"	11時10分	"	12時20分	"
3	"	12時30分	"	1時40分	"
4	"	1時40分	"	2時50分	"
5	"	2時50分	"	4時00分	"
6	"	4時10分	"	5時00分	"

 (4). 競技は、下記7クラス別の決勝戦を行ふ。
 Aクラス(4歳より7歳まで), Bクラス(2歳・3歳), Cクラス(幼稚1級), Dクラス(2級～4級), Eクラス(5級～10級)
- (5). 施設は、各クラス共3回戦を行い、勝者同士の対戦による3勝者で決勝戦を行ふ。
9. 表彰式 各クラス毎に、優勝者、準優勝者、3位者を定め、賞状を授与する。
 10. 特典 成績により下記大会に推薦する。
 1. 7月26日開催の八王子大会
 2. 9月開催のNTT教育基木会
11. 召集定員 抽選会にて決定する。
12. 参加申込 別掲、大会の定員数決定について参照。
 (1). 既待者は、返信ハガキにより申込む。
 (2). 会員や研修会員及び指導者等により推薦された方は、通常ハガキにより、大会参加申込として下記条件を記入する。
 氏名、級位、生年月日、住所、電話、絞り名
 申込先は、並僅同好会以降記
13. 参加締切 (3). 会員は、同好会以降、研修会員は、研修部員に、口頭で申込
 大会の1週間前(以降)とする。
 但し、延長競争の場合は、即時折切りとする。
14. 参加折切り前に付ける御通知 締切日以前に電話により連絡する。

(4)

以 上

第2回ボケ防止のための啓発用基会の運営について

昨年の大会案内は、八王子市の全町会に回観用カラシを配布致しましたが、今回これを取止め、基走連保有の60方以上の方の有効者及び級位者名簿(800名)を基会員外にて後援ハガキによる招待状を発送の方を以てし、更に、会員の招待者に参加推薦を歓迎する方針で、大会開催の周知徹底を図ることと致しました。

例に依つて、各同好会では、次のような御手配を御願いします。

記

1. 主催同好会

- (1). 会長は大会委員長に就任する。
- (2). 大会1ヶ月前に市民センターに対し、施設使用許可申請書を提出し、会場を確保する。
- (3). 年当の予定所要数(定員の半数位)を1ヶ月前に、業者に予約し、申込締切後、平均1日数を仮算としておき、大会当日確定数を證文する。
尚、確定数には、基走連3名、競技委員4名と審判委員を加算する。
- (4). 申込締切後、参加申込者名を基走連に報告する。
- (5). 次回開催の同好会に競技委員4名の派遣を依頼する。
- (6). 技術顧問と審判としての参加を要請する。
- (7). 大会委員4名を決定し、次回よりな大会当日の業務を差配する。

1. 会場の決定

2. 受付業務

八開会式(競技委員の紹介)

二、閉会式(賞状の授与)

木、会場の取扱付け整備

2. 次回開催の同好会

- (1). 前回開催の大会を応援されたための競技委員4名を決定し、派遣する。
- (2). 開会後、成績表と計点表及び会員外の名札を基走連に引渡す。
- (3). 大会に公示した成績表を大会委員長に引渡す。
- (4). 大会終了後、開幕セレモニー(持田川1分)及び文房具、記章等を引取り、自己の大企用に使用する。

3. 基走連

- (1). 大会に因る各招待状を主催同好会や長老にあり1ヶ月前に発送する。
- (2). 大会委員長よりの参加者名報告に依り、成績表及び計点表(オハヨウ表)を作成し、パック表と共に大会当日届ける。
尚、パック表は参加者全員(選考用)/包と算定添付分/包とする。
- (3). 賞状は、1週間前に大会委員長に届け、調印を願う。
- 尚、賞状記名者が未派遣の場合は、基走連より派遣する。

4. 大会開催日程表

開催予定日	主 催	会 場	住 所	電 話
2月2日	城川町同好会	練習福祉センター	東浅川町 551-1	67 1331
2月23日	元八子町同好会	元八子町民センター	上淀町 147-1	51 3960
3月8日	牛 野	牛 野	牛野町 2936-1	29 6221
3月22日	大和田	大和田	大和田町 5-9-1	45 2900
4月12日	子 安	子 安	子安町 2-6-1	46 1220
4月26日	甲 井	甲 井	片倉町 2382-3	35 8020
5月10日	田 木	田 木	下神明町 648	76 8123
5月31日	北 野	北 野	北野町 543-3	43 0440

団体紹介コーナーの設置について

基光連ニュース第22号にて発表致しました"団体紹介サークルの案内欄新設について"の方針に従い新年号より"団体紹介コーナー"を発足せることになりました。

とりあえず、12月半に差額して分を攝取致しまさば、今後は、応募や調査による資料を順次採り上げて行くことにしておりまますので、会員の方々が団体についての団体紹介等について御知り合なれば幸いであります。

(熊崎)

高尾園藝同好会について(紹介文)

昭和56年3月、猿川社会教育推進会の園藝同好者への呼びかけに応じた46名を中心として56年8月12日に猿川支所の2階で創立総会を開催し、次のような組織をした。

1. 名称は、高尾園藝同好会とある。

2. 規約、役員の選任を行ひ、会長の裏表外10名の役員を選任した。

3. 会員休、年会費限なく、猿川支所管内及び周辺地域の園藝同好者。

4. 例会日は、毎月第1、第3日曜日午後1時～5時

5. 入会金1,000円、会員年1,000円

6. 図書セット12冊購入ある。

7. 創立当初の会員数は55名

以上により猿川支所2階において、引継ぎ例会を重ねて來た。

63年猿川市民センターが開館したので、会場を同センターに移し、第1、第3日曜日開いていく。

然しごれより、会員の動向については、高齢者が次々と退会し、現在は老人が主体で会員数が多く、次第に状態が悪化している。

-60歳以上の有機者6名、級位者14名 計20名

60歳以下有機者1名、級位者0名 計1名

合計 " 7名 " 14名 計21名

然し、最近新加入者もおり、今後は、積極的に推進方針である。

尚、数年前より入会休止止し、新加入者からは会員も微減している。

平成3年12月10日 会長の裏表(高尾町1549, 電61-0207)

館町団地園藝同好会"どんぐり"について(紹介文)

1. 名称は、館町団地園藝同好会"どんぐり"

2. 会長は、野中義仁(館町1821-64, 電63-0635)

3. 例会日休、毎月第2、第4の土曜日午後6時～10時、第3日曜日午後1時～5時

4. 会員休、月200円

5. 大会は、3月×/2月の第4日曜日午前10時～午後5時

6. 研修旅行(今年で5回目)、8月第4週の土・日の一泊2日研修旅行。

(場所は、猿文小鹿野寺旅館、客室50室あり)

7. 現会員休、60歳以上の有機者1名、級位者6名、計7名

60歳以下 " 4名, " 11名, " 15名

合計 " 5名, " 17名, " 22名

平成3年12月14日 大河原 錦(館町1821 館町団地, 電63-6036)

(6)

南陽台園藝将棋爱好者会“松風会”について（昭和3号）

昭和58年に自治会の主催で広く会員に呼びかけ、オノ回の園藝将棋大会を開催、中学生から高齢者まで園藝ゼリゲセ27名に達する参加を見、大変好んで喜んでいた。

しかしその後、会場の都合や来客の不足等の予定とが仲々かみ合わず、半ば立ち消えの状態で約5年を経過した。

昭和63年に南陽台園藝将棋爱好者会をスタートし、入会金、会員を決めて、約30人近い会員を登録付けております。

1. 名称は、南陽台園藝将棋爱好者会“松風会”
2. 規約、会員を決め、会長に西郷鎮夫を選出した。
3. 会員は年会制限なし
4. 例会は、毎月オフ、オフ日曜日の午後
5. 会費は、1回100円
6. 大会は、年2回開催している。

特に、年未休、年会を兼ねていますので“大獎好評を得ています”。

7. 現会員数、60万以上有候者 8名、級位者 5名、計13名
60才以下の “ 9名、 “ 0、計 9名
合計 “ 17名、 “ 5名、 “ 22名

会員の中には、何人かは貴殿のお世話をひらく立子市金城～相模地区等の大企業には参加させていただいているようですが、詳細は掌握していません。

会員の中には、まだ現役で仕事を続けている者も多く(かく伴江が小生同様ですが)、土・日曜日はゴルフや旅行など、併々多趣味の人が多く、大体平均7名～10名くらいの練習日が続いている方。

平成3年12月26日 会長 西郷鎮夫(南陽台1-22-1, 電 76-5767)

松が谷老人会相の会園藝部について（昭和4号）

昭和60年4月開始、当時は16名参加者もあり、財務も難がありました。

現在は、駆出者又はよくほつた方などで7名、8名と減っておりますが、週に1回土曜日に練習を開催、ボケ防止のため又、日曜の楽しみなど復活しております。

私も基に自信を持ち、日々上達をとフィットを持っておりるので“よろしくお願いします”。

1. 名 称は、松が谷老人会相の会園藝部
2. 例 会は、毎月土曜日午後1時～5時
3. 会 費は、無料
4. 現在会員は、60名以上 有候者 2名
級位者 6名
計 8名

近記 練習のことを手で語り、つまり手語と言葉から云い、うまいことを云つたものだと思ふ。

口はき、おじさんが、自分と相手とが一石一石を折り合って心がよわす、語がわかるといふのが最もあります。

盤上に見る白石、黒石ではありますか、只、石であります、自分の心を語り、相手も又、相手の心を語っているのであります。そこにはどうやらお義理の表現があり、とてもつまらない珍味があると云ふ顔です。

もう云ふ意味に於ても碁の面白さ、非常に樂しいゲームと思ひます。

平成3年12月20日 会長 神保大二(松が谷30-3-402, 75-0623)

(7)

第2回ボケ防止のための啓発巡回大会の座員数決定について

1. 平成3年12月現在の 地区別のクラス別人員数

地区別	Aクラス	Bクラス	Cクラス	Dクラス	Eクラス	合計
4歳以上7歳未満	2歳・3歳	新規1級	2歳～4歳	5歳～10歳		
城 川	25名	33名	40名	29名	23名	150名
東 斎	8"	27"	14"	16"	12"	77
小計	33"	60"	54"	45"	35"	227
元八王子	11"	18"	23"	8"	9"	69
多 場	12"	17"	14"	17"	6"	66
大和田	14"	24"	32"	18"	8"	96
田 木	14"	12"	26"	18"	14"	84
中 野	14"	21"	11"	16"	5"	67
田 井	13"	21"	28"	8"	17"	87
北 野	11"	27"	28"	13"	12"	91
合計	122名	200名	216名	143名	106名	787名

2. 各地区的開幕幹部調査による人員増加数を加算。

3. 公員及研修会員及び招待者の推薦による新規参加者を加算。

4. 前記1.2.3項を検討の上、最終定員数を決定の方。

ボケ防止---城川大会の開催案内

1. 日 時 平成4年2月2日午前9時開館、午前9時20分受付開始
2. 場 所 総合福祉センター（東城川町551-1, 電67-1331）
3. 主 催 城川町団体自好会（会長保屋野正清、〒193 元八王子町3-2581, 電64-0906）
4. 後 援 八王子市、八王子市教育委員会、財団法人日本棋院
5. 参加申込
 - (1) 復復ハガキによる招待者(144名)は、返信ハガキにより申込む。
 - (2) 公員及研修会員及び招待者により推薦された方(60名以上)は、通常ハガキによる条件を記入し、申込む。
 1. 氏名、後・姓氏、生年月日、住所、電話、性別の要・不要。
 2. 紹介者の氏名
 - (3) 会員は同好会長に、研修会員は研修部員に、直接口頭で申込む。
6. 参加締切 1月25日(必着)とする。但し、定員超過の場合は即時締切とする。
7. 参加打切り者に対する即時通知は、締切日以前に電話により連絡可。
8. 特別注意事項 駐車場の關係で自家用車はなるべく御遠慮下さい。

ボケ防止---元八王子大会の開催案内

1. 日 時 平成4年2月23日午前9時開館、午前9時20分受付開始
2. 場 所 元八王子市民センター（上尾分町447-1, 電51-3960）
3. 主 催 元八王子町団体自好会（会長高橋実、下恩方町1168, 電51-6753）
4. 後 援 八王子市、八王子市教育委員会、財団法人日本棋院
5. 参加申込 前記の城川大会の現参加申込を御参照下さい。
6. 参加締切 2月18日(必着)とする。但し、定員超過の場合は即時締切とする。
7. 参加打切り者に対する即時通知は、締切日以前に電話により連絡可。
8. 特別注意事項 駐車場の關係で自家用車はなるべく御遠慮下さい。